



# 学校便り

海老名市立杉本小学校

令和4年2月21日

校長 小川 百合子

Tel 046-233-6451

2月も後半に入りました。依然新型コロナウイルス感染症の流行は収まらず、学校教育の教育課程におきましても影を落としています。苦しい状況はまだしばらく続きそうですが、この2年間の経験を活かし、全職員で子どもの笑顔のために取り組んでまいります。

## ◆◆◆ みんな ちがう だからコミュニケーション ◆◆◆



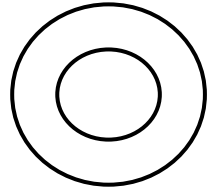
さて、正門近くの梅の木には、今にも咲き始めそうなつぼみがいくつもつき始めています。きっと今年も皆の目を楽しませてくれることと思います。人間社会では、世界中において新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、誰もが何かしら不安を抱え生活をしています。そんな中、何事もないかの如く、いつもどおりに花を咲かす準備をしている梅の木。うらやましくも思えてきます。

さて、この梅の木には、人間社会の喧騒がどのように映って見えているのでしょうか。見え方も違っているのでしょうか。聞けるものならぜひ聞いてみたいとも思います。

見え方といえば、私は担任時代出会った子どもたちと右のイラストをもとに考えあう時間をとっていました。

「みんなは、このイラストは何に見える？」の問いかけに、即座に反応する子どもたち。自信をもって「目玉焼き!」の発言。他の児童からは「えっ!?!」や「同じ。」などの反応が続きます。自信をもって発言した児童は、「えっ!?!」の反応にややびっくり。どうやらほとんどのみんなが目玉焼きと言うと思っていた様子。発言は続き「ドーナツ」「指輪」「的あて」「標識」…。続く「雪だるま」の発言にまた、「えっ!?! どうして?」「だって、横にしてみたら見えるよ。今は、雪だるまを上から見ている感じ。」「ああ。なるほど」と友だちの真意を聞いて納得。

私が子どもたちに実感し、気づいてほしいこと。それは、同じものを見ていても、人それぞれ感じ方が違うこと。それは間違いではないこと。それから、「なんで」「どうして」と感じた時には、友だちに尋ねるなどコミュニケーションをとってみると、相手の思いに寄り添うことができること。



さあ、こんな厳しい時こそ、みんなで積極的にコミュニケーション!(自分自身にも言い聞かせながら)そこにはきっと、これから訪れる春のような温かい空気が流れることと信じています。

〈杉本小学校 教頭〉

## ◆◆◆ 3月の行事予定 ◆◆◆

- 1日(火) あいさつ運動中止
- 2日(水) A4日課 給食・清掃あり 下校 13:25
- 3日(木) 大掃除週間~10日
- 7日(月) A4日課 給食・清掃あり 下校 13:25  
朝会(運営委員会より)
- 8日(火) 代表委員会(昼休み) 学校運営協議会
- 11日(金) 6年奉仕作業
- 15日(火) 代表委員会(昼休み)
- 17日(木) B4日課 給食最終日  
5年生卒業式前日準備(5校時)  
下校 12:55 5年下校 14:05

18日(金) 卒業証書授与式



地域の皆様には、卒業生の成長した姿を是非見ていただきたいところではございますが、今年度も来賓での参加依頼を遠慮させていただきます。

- 21日(月) 春分の日
- 22日(火) B4日課 下校 12:00 学校応援団
- 23日(水) B4日課 下校 12:00 大掃除
- 24日(木) B4日課 下校 12:00
- 25日(金) 変B4日課 下校 11:15 5年 11:45  
あいさつ運動 修了式 離任任式